研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

オフポンプ冠動脈バイパス術中に投与された５％アルブミン製剤が術後の急性腎障害発症に及ぼす影響の検討

研究期間：

西暦　2011　年　1　月～西暦　2015　年　12　月

対象材料：

□病理材料（対象臓器名　　）

□生検材料（対象臓器名　　）

□血液材料　□遊離細胞

■その他（　血液検査データ、血圧、心拍数、身長、体重　　）

上記材料の採取期間：　西暦　　年　　月～西暦　　年　　月

意義：

オフポンプ冠動脈バイパス術後に生じる急性腎障害の発生を抑制するのに効果的な治療法を見い出すこと。

目的：

オフポンプ冠動脈バイパス術を受ける患者では、術前の低アルブミン血症の補正が急性腎障害の発生頻度を軽減すると報告され、術中投与についての効果を検討し治療に役立てること。

方法：

後方視的に 5 年間に実践されたオフポンプ冠動脈バイパス術症例を対象にアルブミン溶液投与の有無で 2 群に分け、解析すること。

個人情報の取り扱い：

患者の匿名性は守られる。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒７５０－００４１
山口県下関市向洋町一丁目１３番１号
下関市立市民病院　麻酔科　平田　孝夫
TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８